編集・発行
青森県立
三本木高等学校
三本木高等学校附属中学校
父母と教師の会
広報委員会
TEL 0176-23-4181（高　校）
TEL 0176-24-1184（中学校）
http://www.kamikita.ed.jp/~sanbongi/
題　字　　書道部
高校３年６組　諏訪ひより
印刷 / 日刊東北印刷所

～目　次～

校長・父母と教師の会会長挨拶・・　1
高校教頭挨拶・・・・　2
職員紹介・・・・・・　2
父母と教師の会役員名簿・・　6
進路指導部より・・・・　7

「成長を続ける三高生～プラタナスとともに～」

校　長
小森（こもり）直樹（なおき）

昨年度末、校地内にあるプラタナスとイチョウの木がかなり巨大化していたため、専門の業者の方に依頼し、数日かけて剪定しました。これまでは遠くからでもプラタナスやイチョウが一目でわかり、まさに学校のシンボルとなっていましたが、今はややさみしい状況になりました。しかし、これらの木は生命力が強く、数年で以前のような姿に戻ると言われています。本校の創立１００周年のあたりには「いい姿」になっているのではないでしょうか。

さて、本校は現在、県教委の事業の一環で台湾との交流を行っております。今年１月には、生徒16名が協定している学校を訪問し、交流活動を実施しました。私も同行しましたが、生徒たちは主に英語を駆使しながら現地の高校生とやりとりし、非常に有意義な時間を過ごすことができました。５月末には、台湾の生徒たちが本校を訪問します。１日だけの交流ですが、お互いの文化や習慣の違いを理解し合い、視野を広げるきっかけにしてほしいと思っています。また、附属中学校では、夏季休業中にオンライン留学を実施しているほか、修学旅行で英語オンリーの体験活動を実施する施設を訪問するなどの異文化体験プログラムを特色の一つとして積極的に導入・実施しております。教育目標に掲げる「国際社会の進展に寄与すべき、積極有為な人材を育成する」ために特色ある取組を今後も継続実施したいと考えております。

令和６年度がスタートし、生徒たちは学習や部活動などに一生懸命打ち込んでいます。人事異動により職員も入れ替わりましたが、これまで同様生徒たちの成長のため全職員で努力していきます。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いし、御挨拶といたします。

これからの社会に向けて

父母と教師の会会長
中村（なかむら）聖吾（しょうご）

日頃よりＰＴＡ活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。前年に引き続きＰＴＡ会長を務めさせていただく中村と申します。何かと至らぬ点も多かろうと存じますが、皆様と力を合わせて子どもたちの夢と健やかな成長を見守り活動していく所存でございます。

さて、時代は急速に変化を迎える中、働き方についても変化を迎えております。長らく日本社会においては終身雇用を前提のもと、新卒採用から定年退職まで１つの企業で勤め上げることを「日本人の美徳」とされておりました。それが今や激化するグローバル化の中で失われた30年と揶揄される経済成長の低さを打開しようと、政府方針により大手企業を中心に雇用制度改革の動きが加速しているようです。いわゆるジョブ型雇用の推進ですが、既にスキルや資格がある者にとっては選択肢が広がる雇用形態である一方、雇用が不安定になり失業率増加の懸念が指摘されています。そればかりではなく技術革新により労働人口の約半数の仕事がＡＩや機械で代替可能になる等の発表がある中、教育の在り方も新たな事態に直面していることと言えるでしょう。このような状況下の中、雇用の流動性、仕事の多様化が加速する時代において、子どもたちは未来に向けて自らの人生をどのように拓き、生涯を生き抜く力をどのように培っていくことが、今まさに問われているものと感じます。

これから子どもたちが、社会人になるまでには数多くの試練が待っています。将来の予測が困難な時代を前に、我々保護者と教師が一体となることが必要だと感じます。どうか皆様のお力を賜りたくお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

2024年度入試を振り返って

進路指導部主任　氣仙　祐禎

「令和6年度大学入学共通テスト」は志願者が491,914人と、前年度より20,667人減り、1992年の大学入試センター試験（3年目）以来の40万人台でしたが、現役志願率（高卒予定者における共テ志願者の割合）は45・2%（青森は40・9）で、共テ志願者全体における現役生も85%と、現役高校生の大学への進学志向の一端がうかがえます。共通テスト利用大学数は864校で、それら大学志望先への出願も、特に難関層を中心に受験生の翌年の新課程入試を見越した影響もあるかもとの一部予想もありました。

2023（令和5）年度の本校卒業生は、国公立大学に延べ109名、私立大学には181名が合格し、大学進学率は83・9%となっています（短期大学含む）。県内の国公立大学では、弘前大学23名、青森公立大学2名、青森県立保健大学7名、難関大学では、東京工業大学2名、東北大学3名、早稲田大学4名、慶應義塾大学1名、医学部医学科では、弘前大学2名、の合格となりました。進路決定先における受験別での合格者は、四年制大学の学校推薦型・総合型選抜では国公立24名、私立34名、一般選抜では、国公立前期66名、国立後期・公立中後期独立13名、私立36名でした。なお、文科省所管外学校にも防衛大学校2名の合格でした。

日本初の教員養成機関である『師範学校』（1872年設立。後の『東京高等師範学校』）から『東京教育大学』を経て昨年2023年に開学50周年を迎えた『筑波大学』の現学長は、自校の『入試改革』にも言及するなかで、「教育界にとっては大学入試が一番根本的な問題の一つ」とし、「学部の入試でも、この大学で学ぶことができるかどうかという観点から公平に見ています」「各人が自分で研究して、自分にとって受かる勉強方法を工夫して生み出すことができる生徒が受かる」「大学では自分で考える訓練ができている学生でないと本当に難しい」「教科書を全て読んで同じ知識を持っているのに、解けない生徒は解けません。常にものの本質を見ようとしていないからです」と、ある対談記事で語っておられます。

基本的に「答えのないこと」を追究する大学を目指すにあたって、入試では、「その大学でやっていけるかどうか」が多角的に試され求められると言えるでしょう。（※「大学入試センター」「河合塾」「Y-SAPIX」「ベネッセ／駿台」「学研」各資料より）

令和5年度3月卒業生の大学等合格者数一覧

国立大学（81名）

大学	学部	学科	男	女	計
北教大旭川校	教育	教員／数学		1	1
北教大岩見沢校	教育	教育／芸術・スポーツ		1	1
北教大釧路校	教育	教員養成	1	1	2
北教大函館校	教育	国際／地域教	1		1
室蘭工大	理工	創造工	1		1
	理工夜	創造工	1		1
弘前大	人文社会	文化創生	1	2	3
		社会経営	2	1	3
	教育	学校／小学校	1		1
	理工	地球環境防災	1		1
		機械科学	2		2
		自然エネルギ		1	1
	医	医	1	1	2
		保健／看護学		4	4
		保健／検査技	1		1
		保健／作業療	1		1
	農学生命	生物		1	1
		食料資源	1		1
		国際園芸農	1	1	2
岩手大	人文社会	人間文化		3	3
	教育	学校／小学校		2	2
	理工	シス／電気電	1		1
		シス／知能メ	2	1	3
		シス／機械科	2		2
		シス／社会基	1		1
	農	食料／農・食	1		1
東北大	法	法	1		1
	工	機械知能・航	1		1
	医	保健／看護学		1	1
宮城教育大	教育	学校／初等教	1	1	2
		学校／数学	1		1
秋田大	教育文化	学校／こども		1	1
福島大	人文社会	行政政策学類		1	1
		経済経営学類	1		1
		人間／教育実		1	1
		人間／人文科		1	1
茨城大	教育	学校／数学	1		1
	工	機械シス工	2		2
		電気電子シス	1	1	2
		物質科学工	1	1	2
宇都宮大	工		1		1
群馬大	理工	物質・環境類	2		2
	医	保健／看護学		1	1
埼玉大	教育	学校／小心理	1		1
		学校／小言語		1	1
	理	物理		1	1
	工	機械工学・シ	2		2
		電気電子物理	1		1
		情報工	1		1
千葉大	法政経	法政経		1	1
	国際教養	国際教養		1	1
	理	地球科学	1		1
東京海洋大	海洋工	流通情報工	1		1
東京外大	言語文化	言文／東南2		1	1
東京学芸大	教育	教育／多文化		1	1
東京工業大	理		1		1
	生命理工	生命理工学系	1		1
横浜国立大	経済	経済		1	1
新潟大	教育	学校／教育心		1	1
信州大	繊維	先進繊維・感		1	1
島根大	人間科学	人間科学	1		1
計			46	38	84

公立大学（25名）

大学	学部	学科	男	女	計
旭川市立大	経済	経営経済		1	1
青森県立保健大	健康科学	看護		1	1
		理学療法		1	1
		社会福祉		4	4
		栄養		1	1
青森公立大	経営経済	経済	2		2
岩手県立大	社会福祉		1		1
	ソフトウェア	ソフトウェア		1	1
宮城大	事業構想			2	2
	食産業		1		1
秋田県立大	システム	機械工	1		1
		知能メカトロ	2		2
秋田公立美大	美術	美術		1	1
高崎経大	経済		1		1
川崎市立看護大	看護	看護		1	1
新潟県立大	国際地域	国際地域		1	1
静岡県立大	国際関係	国際言語文化		2	2
大阪公立大	工	マテリアル工		1	1
計			8	17	25

令和5年度卒業生の進路状況について

＜合格者延べ人数＞

	国公立大学		私立大学	短期大学		専修各種	就職	文科省所管外学校	外国大学等
	国立大	公立大		国公立	私立				
男子	46	8	65	1	0	4	1	2	0
女子	38	17	116	10	2	13	0	0	0
小計	84	25	181	11	2	17	1	2	0
計	109			13					
	実人数	106							

＜最終進路先状況＞

在籍数	国公立大学		私立大学	短期大学		専修各種	予備校	就職	文科省所管外学校	外国大学等	未定（自宅浪人等）
	国立大	公立大		国公立	私立						
男子 93	45	8	22	0	0	4	5	1	2	0	6
	48.4%	8.6%	23.7%	0.0%	0.0%	4.3%	5.4%	1.1%	2.2%	0.0%	6.5%
女子 118	36	14	48	3	1	13	0	0	0	0	3
	30.5%	11.9%	40.7%	2.5%	0.8%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
計 211	81	22	70	3	1	17	5	1	2	0	9
	38.4%	10.4%									
	103										
	48.8%		33.2%	1.4%	0.5%	8.1%	2.4%	0.5%	0.9%	0.0%	4.3%
	4年制大学進学者		173 82.0%								
	大学(短大)進学者数 進学率		177 83.9%								